

第 122 回春期大会 開催のご案内

第 122 回春期大会は、九州大学伊都キャンパスにおいて下記の日程で開催致します。なお、詳細は 3 月号に会告致します。

会 期	(1) 研究発表講演会	平成 24 年 5 月 19 日 (土), 20 日 (日)
	(2) テーマセッション	平成 24 年 5 月 19 日 (土) または 20 日 (日)
	(3) 表彰式	平成 24 年 5 月 19 日 (土)
	(4) 市民フォーラム	平成 24 年 5 月 19 日 (土)
	(5) 懇親会	平成 24 年 5 月 19 日 (土)
	(6) 機器・カタログ展示	平成 24 年 5 月 19 日 (土), 20 日 (日)
	(7) 見学会	平成 24 年 5 月 18 日 (金)

大会会場 九州大学伊都キャンパス (〒 819-0395 福岡市西区元岡 744 番地
九大学研都市駅から昭和バスで約 15 分・博多駅から西鉄バスで約 50 分)

懇親会会場 ホテルセントラザ博多 (〒 812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 4-23 博多駅 (筑紫口) から徒歩 1 分)

第 122 回春期大会講演募集

講演申込締切 平成 24 年 1 月 18 日 (水) (23:59 までに登録完了してください)

概要集原稿締切 平成 24 年 3 月 8 日 (木) 事務局必着

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの。

講演分類：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

発表方法：(1) 口頭発表の講演時間は、原則として、発表 15 分、討論 5 分です。

(2) ポスター発表の在席時間は 1 時間 40 分で、ポスターは翌日まで展示していただきます。

(3) 口頭発表について、プロジェクトのみ用意します (PC は持参)。

申込資格：規程により発表者は本学会会員に限り、連名者がある場合には、発表者を含む半数以上が本学会会員でなければ講演発表はできません。非会員の方は、入会手続きをお願いします。

申込方法：ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>からお申込下さい。

(1) インターネットサービスに新規登録する

(2) 軽金属学会ホームページを開き、「ログイン」で会員番号とパスワードを入力し、ログインする

(3) 「大会講演申込」をクリック

(4) 「大会講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う

※講演発表に伴い入会される方は、12 月 20 日までに入会手続きを終えて下さい。

また、入会申込書を送付の際には、「講演申込のために事前に会員番号が必要」とのメモを必ず添付して下さい。通常の入会処理では、会員番号がお手元に届くまで 1 か月以上かかりますので、ご注意下さい。

※講演申込にあたって、講演形式を、口頭発表／ポスター発表／どちらでもよい の 3 つから選択いただきます。そのあと講演分類を選択いただきますので、どちらでもよいを選択された方は、講演分類では P 以外を選択して下さい。また、テーマセッションは口頭発表のみ受け付けますので、テーマセッションを希望される方は必ず口頭発表を選択下さい。ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50 件程度のポスター発表を見込んでおります。次頁のポスター発表募集をご覧下さい。多くのポスター発表申込を期待しております。

講演発表登録料：2,000 円 テーマセッション、ポスターセッションも同じです。

(講演申込と同時に郵便振替、小為替または現金書留で送金下さい。)

郵便振替口座番号：00100-3-66805 (加入者名：一般社団法人軽金属学会)

問合先：一般社団法人軽金属学会 事務局 〒 104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル 6 階

Tel (03) 3538-0232 Fax (03) 3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

第 122 回春期大会ポスター発表募集

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させております。

—学界、業界を問わず奮ってご応募ください—

- * 優秀ポスター発表賞の枠を拡大中
- * 優秀ポスター発表賞を軽金属学会会長名で、懇親会会場にて表彰
- * 表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
- * 学界、業界を問わず、正会員からのポスター発表も表彰の対象
- * ポスター発表時間：1 時間 → 1 時間 40 分に拡大 十分なディスカッションが可能

実施方法

- (1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。講演申込の際、講演分類は P を選択する。
- (2) 幅 1200×高さ 1750mm のパネル 1 枚。ポスターサイズは A0 版（幅 841mm×高さ 1189mm）が標準。パネルの前に机は置けません。
- (3) 在席時間は 1 時間 40 分とする。ポスターは翌日まで展示します。
- (4) 概要集に掲載するので、講演発表者と同様、概要原稿を提出する。

ポスター発表登録料：1 件につき 2,000 円（申込と同時に郵便振替、小為替または現金書留で送金下さい。）

第 122 回春期大会テーマセッション募集

第 122 回春期大会では、下記のテーマでテーマセッションを企画致しました。テーマセッションは、キーノート講演と一般講演で構成され、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供することを目的としています。奮ってご応募ください。

T1: 超微細粒がもたらす軽金属材料の新しい可能性

趣 旨：軽金属材料は構造材として工業製品の重量低減に大きな役割を果たしてきた。環境負荷低減が強く求められる現在、更にその重要性は増していると言える。しかし、さらなる適用範囲と需要の拡大には、絶対的な強度不足の改善、新機能の開発、等が必要であろう。巨大ひずみ加工によって得られる超微細粒材は、強度、加工性等、従来のいわゆる通常粒材とは大きく異なる特性を有することが明らかにされつつある。本テーマセッションでは、超微細粒組織を有する軽金属材料の特異な特性の実例や研究成果の発表と議論を通して、新機能・構造材料としての可能性を探ることにある。関連研究の参加を募集致します。奮ってお申込み下さい。

世話人：三浦博己（電気通信大学）、鉛山 恵（立命館大学）、辻 伸泰（京都大学）、土谷浩一（物質・材料研究機構）、堀田善治（九州大学）、山崎 徹（兵庫県立大学）

T2: アルミニウム合金の加工限界への挑戦

趣 旨：アルミニウム合金は一般的な鉄鋼材料より高い比強度を有するため、自動車などの輸送機器用の軽量構造部材としての応用が期待されている。しかしながら、鉄鋼材料と比較して低い加工性が応用の障害となることが多く、アルミニウム塑性加工時の加工限界（成形限界）を改善する種々の検討が行われている。例えば、(1) 加工性に優れた新合金の開発、(2) 組織制御や集合組織制御による加工性の向上、(3) 新加工法の適用や加工条件の最適化、(3) 潤滑剤や潤滑方法の改良、などのアプローチがなされている。本テーマセッションではそれらの事例を発表いただくとともに、種々のアプローチのシナジー効果による加工性のさらなる改善の可能性を議論したい。

世話人：宇都宮 裕（大阪大学）、大津雅亮（福井大学）、飯塚高志（京都工芸繊維大学）、松本 良（大阪大学）

T3: シンクロ型 LPSO 構造の材料科学

趣 旨：新奇な LPSO 構造相を強化相にした高強度・高耐熱マグネシウム合金（LPSO 型マグネシウム合金）がわが国で開発され、基礎と応用の両面で研究開発が進められています。特に、2011 年から文部科学省・新学術領域研究「シンクロ型 LPSO 構造の材料科学」が 5 年間の予定で開始され、LPSO 型マグネシウム合金の強化相である LPSO 構造相の原子配列構造、形成機構、力学特性と新強化原理の解明に向けた基礎研究が進められています。そこで、本テーマセッションでは、LPSO 型マグネシウム合金ならびにシンクロ型 LPSO 構造について講演を募集し、LPSO 型マグネシウム合金とその実用化への展開、ならびにシンクロ型 LPSO 構造の原子配列構造、形成機構、力学特性等について議論します。奮ってご応募ください。

世話人：東田賢二（九州大学）、中島英治（九州大学）、古原 忠（東北大学）、相澤一也（JAEA）、大谷博司（九州工業大学）、神山 崇（KEK）、河村能人（熊本大学）